

旧麓小学校校門



昭和30年（1995）頃の写真



2007年の写真

弥彦村の麓に2006年秋オープンした「さくらの湯」からほど近いところに旧麓小学校の木造校舎1棟が残されています。この建物は現在、公民館の麓支館として利用され、1階部分は民俗資料展示室「弥彦村ふるさと学校」として一般に開放されています。村道から入るとレンガ造りの校門が出迎えてくれ、表札は替わっているものの姿は当時のまま。

学校の資料には設置した年月を示す記録は残っていませんが、古建築の専門家は、「大正12年に起こった関東大震災以後レンガ造り工法は採られなくなったので、おそらく大正初期か明治末の構造物と考えたい。大正5年に竣工した彌彦神社の土台も、設計図をみると、レンガ積みの工法が採られている」とみています。

現存の校舎は昭和29年・31年の建築で、築後50年を経ているものの今も利用されており、昔ほどの学校にもあった二宮金次郎像もそのまま残っています。県内に残る数少ない小学校舎の景観として大切に伝えていきたいです。

